

# 令和7（2025）年度 学校評価表

57長野県高遠高等学校

## I. 令和7年度学校評価の重点目標

- (1)人権が尊重される安心安全な学びの場を築き、生徒会活動やクラブ活動を通してルールやマナーを尊重する自律的な態度を育成し、生徒の規範意識を高める。
- (2)基礎学力の定着を図り、探究心やコミュニケーション力を育む教育活動を展開し、生徒の進路保障に繋げる。
- (3)コース制の特色や総合的な探究の時間を活かし、地域体験型学習活動の充実を図り、自己肯定感を高めることにより、自主性を養い、豊かな人間性を育む。
- (4)地域づくりの中核校として、高遠学園構想推進連絡会の下、地域の教育機関や福祉施設・文化施設等と連携を深め、開かれた学校の役割を果たす。

## II. 評価項目および評価の観点

対象	7年度評価項目	7年度評価の観点
1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・学習習慣と基礎学力の定着</li> <li>・コミュニケーション能力と社会性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にし、参加する生徒を育てることができたか。</li> <li>・遅刻・欠課・早退しない意識を持たせることができたか。</li> <li>・ノートや課題を期限内に提出する大切さを伝えることができたか。</li> <li>・学年研修旅行や学校行事に積極的に取り組めるように計画できたか。</li> <li>・自らの特性を理解するとともに相手の個性を認め、適切な距離感や交友関係を保ち、いじめやからかいを抑止することを啓蒙できたか。</li> </ul>
2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・学習習慣と基礎学力の定着</li> <li>・コミュニケーション能力と社会性の向上</li> <li>・進路実現に向けた意識づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にし、参加する生徒を育てることができたか。</li> <li>・遅刻・欠課・早退しない意識を持たせることができたか。</li> <li>・ノートや課題を期限内に提出する大切さを伝えることができたか。</li> <li>・学年研修旅行や学校行事に積極的に取り組めるように計画できたか。</li> <li>・進路見学会、職業を知る講座を通して、進路について具体的に考えさせられたか。</li> <li>・希望にあった進路を考えられるように自己の適性がわかるように支援できたか。</li> </ul>
3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な学習の定着</li> <li>・社会性の伸長</li> <li>・進路実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路室を積極的に活用したか。</li> <li>・進学補習、就職補習、模試を定期的に行い、生徒たちの自主的な学習のサポートが行えたか。</li> <li>・文化祭やコースの活動を通じて、生徒たちと地域をつなげる環境づくりを行えたか。</li> <li>・生徒たちの進路実現に向けて、進路先の開拓ができたか。</li> <li>・進路係と連携し、個に応じた適切な進路指導ができたか。</li> <li>・挨拶や言葉遣いなど社会に出るために当たり前に行わなければならないことを身に付けさせることができたか。</li> </ul>
生徒指導	・生徒の特性の適確な理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の日常生活をしっかりと観察し、変化やサインを見逃さなかったか。</li> <li>・個々の生徒の特性がよく話し合わせ、職員間の情報交換が十分に行われているか。</li> </ul>
	・基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の基本的な生活習慣や身だしなみが自主的に守れるよう指導が行われているか。</li> <li>・規律の遵守を通して自主的・民主的集団作りの指導が行われているか。</li> </ul>
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主活動を通じた自立的態度や自己肯定感、規範意識、コミュニケーション力等の育成</li> <li>・PTAや地域との協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兜陵祭を通して地域との関係づくりを支援できたか。</li> <li>・四者協議会の内容が充実するよう検討が進められたか。</li> <li>・PTAと協力して環境整備作業ができたか。</li> <li>・委員会活動などの生徒会活動に自主的に取り組めるよう支援できたか。</li> </ul>

## II. 評価項目および評価の観点

対象	7年度評価項目	7年度評価の観点
クラブ活動	・生徒の特性を理解し、生徒が選択した競技等を通して社会性の伸長を図る	・ルールやマナーを尊重する自律的な態度を育成し、生徒の規範意識を高めることができたか。
進路指導	生徒に応じた弾力的進路指導	・生徒個人の適性・取り巻く環境等を含め、総合的に進路に関する助言ができたか。 ・学年の状況に対応した指導となっているか。 ・各学年間や学校全体での指導とも連携をとれていたか。
	基礎学力の向上と進路試験対策	・教科だけでなく一般常識や社会常識を基にした、基礎学力の育成ができたか。 ・継続的・組織的に基礎学力の向上がはかられ、3年生は試験対策となり得たか。 ・過去問題集『合格へのレシピ改訂版』を効果的に活用できたか。
	多様な進路希望に対応した進路情報の提示	・生徒個人・学年・時期等に応じた進路情報を提示し、自己実現の援助ができたか。 ・保護者に向けた情報提供は適切であったか。
特別支援	生徒の必要に応じた指導支援の充実	・支援を要する生徒の実態把握ができたか。 ・個々の生徒に応じた適切な支援ができたか。 ・各種研修会の内容を教職員が共有することにより、教職員がさらに指導支援の力を身につけることができたか。
学習指導	学習習慣の確立・個性を伸ばすきめ細かい指導	・基礎学力向上のため各学年の実態に応じた教科指導・補習などを行えたか。 ・生徒の希望に応じた補習授業、特性に適った個別指導を計画的に行なえたか。 ・進路実現に必要な文章力向上のための具体的な方策をとれたか。
	総合的な学習・探究の時間の充実	・地域の教育力を活かした編成ができたか。 ・自己肯定感を高め、コミュニケーション力を高める活動を組み込めたか。 ・必要な資料の提供や相談活動を行えたか。
	幅広い教養と豊かな人間性を育む	・全校道徳学習を行い幅広く、人権感覚等を磨く機会を提供できたか。 ・日常の中で生徒の、自尊感情、他者の人権を尊重する意識・態度を高められたか。 ・上伊那地区高校合同芸術鑑賞(6月)を充実したものにできたか。 ・図書館の環境整備と利用を促進できたか。
	校内研修の計画と実施	・実践的な職員研修(特別支援、授業改善、キャリア教育等)の計画と実施をできたか。 ・職員同士で授業を見合う環境作りを行えたか。
コース運営委員会	文理進学・福祉・芸術・情報ビジネス(3年)、人間福祉・地域創生・芸術文化(1,2年)の各コースの充実を図る	・各コースの特色に応じて、探究的な学びを一層深める支援ができたか。 ・高遠高フォーラムにおいて、探究的な学習の成果を発表する支援ができたか。
学校改革推進調整委員会	・自己評価、他己評価を学校運営に反映し教職員のチーム力を向上する。 ・2年目を迎える新教育課程について内容を検証し、今後の課題に学校全体で取り組む体制をつくる。 ・全学年2クラス編成となる来年度へ向け、学級や学年の最適な姿を模索する。	・学校評価の見直しを行い、学校目標達成に向けて手立てを講じることができたか。 ・学校評議員会、四者協議会との連携がとれたか。 ・職員意見交換会を実施し、それにより諸課題に対する理解が深まったか。 ・高遠高校の将来を見据え、魅力ある学校の実現に向けて具体的な提案ができたか。